

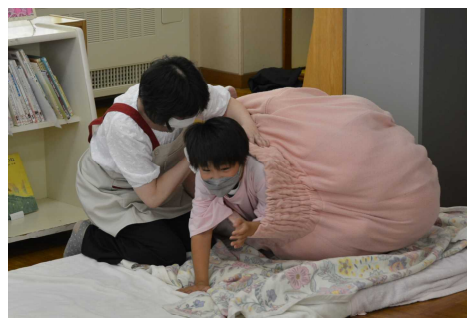


P T A 授業参観・学級懇談・意見交流会

7月13日(水)に行いましたP T A授業参観および学級懇談に、多数ご来校いただきありがとうございました。4月から一回りも二回りも成長し、落ち着いて授業に臨む子どもたちの様子をご覧いただけたことと思います。

その中で5年生は、「こころの健康づくり教室」として、生命を受けて生まれたこと自体が奇跡であること、周りの人からどれだけ愛され大切にされて成長してきたかということなどから「いのちの大切さ」について学びました。

また6年生は、算数の学習でしたが、授業の中でのタブレット使用の一端を見ていただくことができました。



【5年の一コマ「生まれた!」】

学級懇談では、4月からの様子や夏休みの過ごし方などを中心として話し合いました。子どもにはそれぞれ個性がありますので、個別の対応が必要です。担任が話したクラス全体の様子から、我が子の良いところや支援が必要などを見つけていくことが大切です。夏休みに入ってすぐに個人面談を計画しておりますので、子ども一人一人に合わせた対応について話し合っていきたいと思っております。6年生は修学旅行についても話し合いました。9月が待ち遠しいですね。



学級懇談終了後、東由利中学校に場所を移して「東由利小中P T A意見交流会」を行いました。「メディアの適切な利用について」をテーマとして、小学6年生(10人)、中学3年生(12人)、保護者・教員(37人)が、6つのグループに分かれて意見交換しました。

メディア利用の長所・短所、子どもの思い・親の思い、使い方の有効な手立てなどについてたくさんの意見が出て、模造紙が付箋紙でいっぱいになりました。あるグループでは、「(適切に使うかそうでないかは)使う人の『意思』による」とまとめられていました。

メディア端末(スマホ、タブレット、ゲーム機など)を与えるのは間違いなく保護者ですので、責任の所在は保護者にあります。子どもの『意思』は、最初は弱いのが当たり前と考え、それを育てていくのが大人(保護者、教師など)の大切な役目だと思います。



なお、この週末には4~6年生が、夏休みには全校(予定)の子どもたちが由利本荘市から個々に貸与されているタブレットを持ち帰ります。

これは、教育機器として与えられたものですので、「**学習活動のために活用する**」ということになっています。有効に活用することで、子どもたちの学習の大きな助けになることでしょう。

まずは、調べるための道具として、保存・記録の道具として使ってみることをお勧めいたします。

5年 自然教室

7月5日(火)～6日(水)の2日間、県立保呂羽山少年自然の家で、5年生が自然教室を行いました。

〈1日目〉

- ①プロジェクトアドベンチャー：
ペア、小グループ、全体で様々な課題をクリアし、仲間や協力の大切さを学びました。船に見立てた巨大シーソーでの最後の課題もみんなでクリアできました。
- ②追跡ハイキング：
3グループで問題を解きながら森の中をハイキング。たっぷり自然に浸りました。
- ③野外炊飯：定番のカレー作り。おいしいできあがりには完食。生ゴミの量が極少。
- ④ナイトハイク：
提灯をもって、夜の森へ。スタートでは3グループだったはずなのに、ゴールではなぜかみんな一緒に。夜の森は怖かったようです。



〈2日目〉

カヌー体験：
子どもたちの上達は早く、あっという間にみんなスイスイ漕いでいました。



3年 学ぶん

7月8日(金)、3年生が「学ぶん・チャレンジ・プログラムツアー」として、おばこ号で日帰りツアーに出かけました。

子吉駅からおばこ号に乗車 →
矢島駅で車両基地見学 →
矢島の土田家住宅で昔の暮らし見学 →
鳥海のまいーれで獅子舞体験

という盛りだくさんな内容です。学校には味わえない貴重な体験に子どもたちの歓声が聞こえました。



努力の花が咲きました

2022年度本荘由利地区
ミニバスケットボール夏季大会(6/26) **第3位**
※大内チームと合同で出場しました。

